**独立行政法人国立病院機構　大阪南医療センター**

**2025年度 特定行為研修**

**受講申請書類一式**

（1）受講申請書（**様式1**）

（2）履歴書（**様式2**）

（3）志願理由書**（様式3）**

（4）推薦書**（様式4）**

（5）実習施設情報（**様式5**）

（6）受験票・受験写真票（**様式6**）

（7）履修免除申請書（**様式7**）

「申請書類記入見本」を参照すること。

書類に不備がある場合は受理できないこともあるため注意すること。

**（様式　1）**

**受　講　申　請　書**

西暦 年 月 日

独立行政法人　国立病院機構

大阪南医療センター

院　長　　　小田　剛紀　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者（自署）　　　　　　　　　　　　　印

私は、独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター　特定行為研修を受講したく、ここに関係書類を添えて申請します。

記

受講を希望する領域・区分に〇をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 受講希望 | 領域別パッケージ・区分別研修 |
|  | 救急領域 |
|  | 術中麻酔管理領域 |
|  | 区分別「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」(申請中) |
|  | 区分別「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」(申請中) |
|  | 区分別「動脈血液ガス分析関連」(申請中) |
|  | 区分別「循環動態に係る薬剤投与関連」 |
|  | 区分別「創傷管理関連」(申請中) |

**（様式　2）**

　　　　　　　　　　**履　歴　書**

**写真貼付欄**

正面上半身

(4.5×3.5mm)

3か月以内に

撮影したもの

裏面に氏名を記入

西暦　2025　年 10月 1日現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ |  | 男　女 |
| 氏　名 |  | 印 |
| 生年月日 | 西暦　　　　年　　 　月　　 　日生　（満　　　歳） |
| フリガナ |  | TEL携帯TEL |
| 現住所 | 〒 |
| フリガナ |  |
| 所属施設名 | ＊正式名称を記入すること |
| 所属施設住　　所 | 〒 | TEL所属部署もしくは内線番号（　　　　　　　　）FAX |
| 免許取得年月日 | 保健師　西暦　　 年 　 月 　　日 | 号 |
| 助産師　西暦　　 年 　　月 　　日 | 号 |
| 看護師　西暦　　 年 　　月 　　日 | 号 |
| 資格取得 |
| 【資格名】＊上記以外の医療に関する資格のみ記載 | 【取得日】 |
| 学　歴 |
| 一般学歴 |  | 西暦　　年　　月 卒業 |
| 専門学歴 |  | 西暦　　年　　月 卒業 |
| 　 職　歴 |
| 【施設名・診療科】 | 【期間】 |

**（様式　2）**

**記 入 見 本**

　　　　　　　　　　**履　歴　書**

正面上半身

(4.5×3.5mm)

3か月以内に

撮影したもの

裏面に氏名を記入

西暦　2025　年 10 月 1 日現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ | ヤマダ　　ハナコ | 男　女 |
| 氏　名 | 　山　田　　花　子 | 印山田 |
| 生年月日 | 西暦　1988　年　5　月　16　日生　（満　37　歳） |
| フリガナ | 〇〇ケン○○シ○○チョウ | TEL　0123-456-7890携帯TEL　090-1234-5678 |
| 現住所 | 〒123-0045○○県○○市○○町1丁目1-1 |
| フリガナ | ○○ケンリツ　○○ビョウイン |
| 所属施設名 | ○○県立　○○病院＊正式名称を記入すること |
| 所属施設住　　所 | 〒123-0065○○県○○市○○町2丁目2-2 | TEL　0123-194-1110所属部署もしくは内線番号（　内線　4567　）FAX　0123-194-1112 |
| 免許取得年月日 | 保健師　西暦　　 年 　 月 　　日 | 号 |
| 助産師　西暦　　 年 　　月 　　日 | 号 |
| 看護師　西暦　2010 年　4　月　5　日 | ○○○○○○　号 |
| 資格取得 |
| 【資格名】＊上記以外の医療に関する資格のみ記載感染管理認定看護師 | 【取得年】〇年　　〇月　　〇日 |
| 学　歴 |
| 一般学歴 | ○○県立　○○高等学校 | 西暦 2007 年 3 月 卒業 |
| 専門学歴 | ○○県立　○○看護専門学校 | 西暦 2010 年 3 月 卒業 |
| 　 職　歴 |
| 【施設名・診療科】○○県立○○病院外科病棟　3年○○県立○○病院血液内科病棟　4年○○県立○○病院感染管理専従看護師　3年　　　　現在に至る | 【期間】〇年　4月～〇年　3月〇年　4月～〇年　3月〇年　4月～ |

**（様式　3）**

**志　願　理　由　書**

西暦　　　　　年　　　月　　　日

氏　名

|  |
| --- |
|  |

＊パソコン入力をする場合には、ホームページからダウンロードしてください。

**（様式　4）**

**推　　薦　　書**

西暦　　　　　年　　　月　　　日

独立行政法人　国立病院機構

大阪南医療センター

院　長　　　小田　剛紀　殿

施設名

職位

推薦者氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

貴院の特定行為研修の受講者として、次の者を推薦します。

受講者氏名：

|  |
| --- |
| 推薦理由 |

＊パソコン入力をする場合には、ホームページからダウンロードしてください。

**（様式　5）**

**実習施設情報　「救急領域」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目またはパッケージ研修の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 領域別パッケージ研修「救急領域」 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |  |  |  |
| 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |  |  |  |
| 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |  |  |  |
| 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |  |  |  |
| 人工呼吸器からの離脱 |  |  |  |
| 直接動脈穿刺法による採血 |  |  |  |
| 橈骨動脈ラインの確保 |  |  |  |
| 脱水症状に対する輸液による補正 |  |  |  |
| 抗けいれん剤の臨時の投与 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「術中麻酔管理領域」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目またはパッケージ研修の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 領域別大阪南パッケージ研修「術中麻酔管理領域」 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |  |  |  |
| 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |  |  |  |
| 人工呼吸器からの離脱 |  |  |  |
| 直接動脈穿刺法による採血 |  |  |  |
| 橈骨動脈ラインの確保 |  |  |  |
| 脱水症状に対する輸液による補正 |  |  |  |
| 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目またはパッケージ研修の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 区分別研修「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目またはパッケージ研修の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 区分別研修「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |  |  |  |
| 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |  |  |  |
| 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |  |  |  |
| 人工呼吸器からの離脱 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「動脈血液ガス分析関連」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目またはパッケージ研修の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 区分別研修「動脈血液ガス分析関連」 | 直接動脈穿刺法による採血 |  |  |  |
| 橈骨動脈ラインの確保 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「区分別　循環動態に係る薬剤投与関連」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 区分別研修「循環動態に係る薬剤投与関連」 | 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 |  |  |  |
| 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

**（様式　5）**

**実習施設情報　「区分別　創傷管理関連」**

1．実習を行う予定の施設リスト

※研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるため、自施設実習を推奨している。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 施　設　名　称 |
| 自施設実習 | ① |  |
| 他施設実習 | ② |  |
| ③ |  |
| ④ |  |
| ⑤ | 実習施設がない |

2．受講を希望する特定行為に関する施設情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分別科目の名称 | 実習を行う施設※上記リストから番号を記入する | 2か月間で対象となる症例が5例以上ある場合、○を記入 | 指導者\*がいる場合、○を記入 |
| 区分別研修「創傷管理関連」 | 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 |  |  |  |
| 創傷に対する陰圧閉鎖療法 |  |  |  |

＊指導者とは：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター特定行為研修**2025年度　受験票**

|  |  |
| --- | --- |
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな氏　　名 |  |
| 生年月日 | 昭和 　　　年 　　 月 　　日生平成  |

 １．試験日時  　　　2025年 　8月 　1日（ 金 ）  　　　　受　　　　付　　　　 13：30 ～ 13：35  　　　　オリエンテーション　 13：35 ～ 13：45  　　　　小　 論　 文　　　　 13：45 ～ 14：45  　　　　面　　　　接　　　　 15：00 ～  ２．試験会場  　　　　独立行政法人国立病院機構  　　　　大阪南医療センター　2階　TV会議室・特別会議室＊　※欄は記入しないでください。　　　　　　受験票と受験写真票は切り離さずに郵送してください。  |  独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター特定行為研修**2025年度　受験写真票**  **写真貼付欄**1.上半身正面脱帽2.縦4.5㎝×横3.5㎝3.半年以内に撮影

|  |  |
| --- | --- |
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな氏　　名 |  |
| 生年月日 | 昭和 　　　年 　　 月 　　日生平成  |

 |

**（様式　7）**

**履　修　免　除　申　請　書**

独立行政法人　国立病院機構

大阪南医療センター

院　長　　　小田　剛紀　殿

私は、独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター　特定行為研修を受講するにあたり、入講前の既習科目の認定及び履修免除を認定していただきたく、ここに関係書類を添えて申請します。

西暦 年 月 日

　　　　　　　　　　　　　申請者（自署）　　　　　　　　　　　印